

| | | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--|--------|-------------------|---------|---|
| 科目名 (科目番号) | 組織学 (102391) | 教員名 當銘 良也 | 学科等 | 臨床検査 | 必修 | 履修年次 | 1 |
| | | | 曜日・時限等 | 時間割表参照 | 単位数 | 1 | |
| | | | オフィスアワー | | 前期金3.4 後期金1.2 | B207研究室 | |
| 授業概要 | 私たちのからだは細胞から成り立っている。細胞の集団を組織といい、さらに組織が集まって一定の機能を持ったものが器官である。前期に学修した肉眼解剖学に加えて組織学を学ぶことにより、より詳しく人体の機能と構造の理解を深める。 | | | | | | |
| 準備学習 | 毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること | | | | | | |
| 授業計画 | 回 | 授業項目 | 到達目標・学習内容 | | | | |
| | 1 | 細胞 | 到達目標:細胞の構造と働きを理解する。 学習内容:細胞の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 2 | 上皮組織、支持組織、筋組織 | 到達目標:上皮組織、支持組織、筋組織の構造と働きを理解する。 学習内容:上皮組織、支持組織、筋組織の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 3 | 脈管、皮膚、口腔 | 到達目標:脈管、皮膚、口腔の構造と働きを理解する。 学習内容:脈管、皮膚、口腔の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 4 | 消化管 | 到達目標:消化管の構造と働きを理解する。 学習内容:消化管の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 5 | 消化腺 | 到達目標:肝臓、膵臓、胆嚢の構造と働きを理解する。 学習内容:肝臓、膵臓、胆嚢の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 6 | 骨髄、リンパ性組織、呼吸器 | 到達目標:骨髄、リンパ性組織、呼吸器の構造と働きを理解する。 学習内容:骨髄、リンパ性組織、呼吸器の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 7 | 泌尿器、生殖器 | 到達目標:泌尿器と生殖器の構造と働きを理解する。 学習内容:泌尿器と生殖器の構造と働きを学習する。 | | | | |
| | 8 | 内分泌器官、神経組織 | 到達目標:内分泌器官、神経組織の構造と働きを理解する。 学習内容:内分泌器官、神経組織の構造と働きを学習する。 | | | | |
| 成績評価の方法・基準 | 試験100% | | | | | | |
| 教科書 | 入門組織学 改訂第2版 カラーアトラス ひとの組織学 | | 牛木辰男 梶ヶ谷博 熊谷祐子 松並平晋 | | 南江堂 メディカルサイエンス | | |
| 参考図書 | 入門人体解剖学 改訂第5版 ジュンケイラ組織学第4版 | | 藤田恒夫 坂井建雄、川上速人監訳 | | 丸善出版 | | |
| 教員からのメッセージ | 解剖学実習に必要な知識です。予習をして授業に臨んで下さい。 | | | | | | |